

## 2月定例会

二月定例会は、二月二十五日に開会し、三月二十五日に閉会しました。

一般選挙後、初の定例会であるため、議案の審議にさきだち、議長・副議長の選出や常任委員会委員の選任を行いました。

審議した議案は、市長提出の「昭和五十二年度北九州市一般会計予算」など八十一件と、議員提出の「日中平和友好条約の即時締結に関する意見書」など二十四件です。

いずれも慎重に審議され、市長提出の全議案は原案どおり可決、議員提出議案は、十八件が可決され、六件が否決されました。



# 改選後初の定例会を開催

## 昭和五十二年度予算を可決

### 可決したおもなもの

- |  |  |
|--|--|
| <p>市 長 提 案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽昭和五十二年度当初予算総額 四、一三一億七、五九七万円</li> <li>▽昭和五十一年度補正予算総額 六八億八、九一二万円減額</li> <li>▽国民健康保険条例の一部改正 賦課限度額を改めるもの</li> <li>▽下水道条例の一部改正 汚水の水质基準などを改めるもの</li> <li>▽市営住宅条例等の一部改正 入居申込みの収入基準額などを改めるもの</li> <li>▽土地の取得について 第二首根中学校用地の買入れ</li> </ul> | <p>議 員 提 案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽日中平和友好条約の即時締結に関する意見書</li> <li>▽鉱害復旧事業促進に関する意見書</li> <li>▽地方財源拡充に関する意見書</li> <li>▽飲酒運転追放に関する決議</li> <li>▽健康保険法の「改正」に反対する意見書</li> <li>▽被爆者援護法の即時制定に関する意見書</li> <li>▽日本住宅公団住宅の家賃の値上げに関する意見書</li> </ul> |
|--|--|



重田 副議長



吉田 議長

### ごあいさつ

わたくしどもは、二月定例会市議会において議長・副議長に選任され重責を担うことになりました。

北九州市も、今年度は新中期計画の三年目にあたり、将来の北九州市の理想像に向かって努力しておりますが、エネルギー資源問題に端を発した経済情勢の変動は、行政にも、市民生活にも今なお不安の影をおとしており、今後の予測は決して明るいものではありません。

この時期にあたり、わたくしどもは使命の重大さを痛感するとともに、今後とも公正な市議会の運営につとめ、市民福祉の向上のため、市民の代表としての任務をまっとうする所存であります。

なにとぞ、市民のみなさんの深い御理解と御協力を賜わりますようお願い申し上げます。

議 長 吉田 浩明  
副議長 重田 幸吉



**質疑応答**

三月八日から四日間、本会議で十七名の議員が議案に対する質疑を行いました。その中から主なものを取り上げました。

## なくせ！ タライ回し

### — 救急医療体制の確立 —

**議員** 「五十二年度予算に何を望むか」という市のアンケート調査によれば、救急医療に対する関心がトップです。

市民の生命を守るため、一日も早く救急医療体制を確立させなければなりません。来年十月完成予定の第二次医療センターを待たなくとも、現在ある市立病院を救急告示病院にするなどの対策をとるべきではありませんか。

**市長** 昨年五月、北九州市救急医療協議会から「救急医療体制確立についての提言」がありました。

これは、初療（第一次）体制はホームドクターである開業医によって行い、さらに高度な医療を要するものは第二次医療体制、専門的な治療を要するものは第三次医療体制で行い、いわゆるタライ回しをなくしていくとするものです。

現在、市立八幡病院を改築し、この中に第二次医療センターの建

設を進めています。来年十月の完成を機に、医師会の協力を得て第一次体制もスタートさせたいと考えています。

**第三次の医療体制については、**国が全国の主要都市に救命救急センターを設置しますので本市にも誘致を働きかけます。

また、テレホンサービスを中心に情報処理センターを設けて、開業医と一体となった地域医療システムをつくっていきます。

告示病院の多い都市においても、何らそれによって救急医療体制が確立しているわけではなく、本市と同じ課題に直面していることでもあり、告示病院を増やすことでは根本的な解決にはならないと思います。

救急医療体制を確立するということは、医師会、官公立・事業所病院などの協力を得ながら提言の実現を図っていくことがすべてであると考えます。

## 限度では

**議員** 一般会計の歳入に占める市債の構成比が、十四・八%となっています。

健全な財政運営を維持するためには、すでに市債発行の限度にきているではありませんか。

**市長** 歳入に占める市債の構成比は、昨年六月の補正予算時と、ほぼ同率であり異常に高い構成比とはいえません。

また、市債発行の限度については、一般に公債費比率（一般財源総額に占める市債元利償還金の割合）が用いられていますが、通常

## 11年ぶりの中国展

### — 市も推進本部を発足 —

**議員** 日中国交正常化五周年を記念して、本年九月に西日本総合展示場で中華人民共和国展覧会が開催されます。

日中友好、西日本経済の振興などのため非常に有意義だと思えます。市としての準備協力体制はどのようになっていますか。

**市長** 昨年、(財)西日本中国展覧会協力が設立されました。

市としても、田鍋助役を本部長とした北九州市中国展覧会推進本部を発足させており、二十七日間の会期中に百万人の参観者動員等を

## — 市債発行 —

この公債費比率が二十%を越える危険な財政状態であるといわれています。

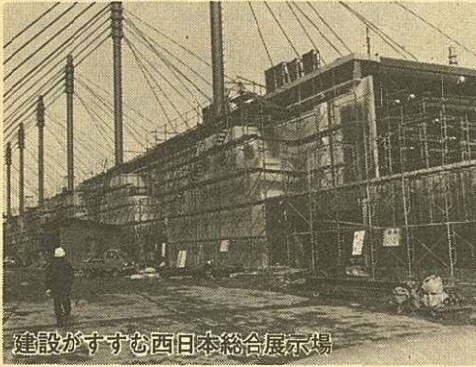
本市の場合、五十二年度で十・九%であり安全な域に留まっています。

## 期待できない交付税

**議員** 地方交付税が、前年度当初予算に比べて四・五%の減少となっています。

国の作成した地方財政計画では、十%の増加を見込んでいますが、

目標として準備を進めています。この中国展が、北九州市にとつて、日中友好、貿易の振興を図るとともに不況克服のきっかけとなるよう、成功のための努力を惜しまないつもりです。



建設がすすむ西日本総合展示場

本市の見積りが少なすぎるのではありませんか。

**市長** 国の地方財政計画では、法人の企業活動が景気の回復とともに活発になり、法人税等が増収となるの見地にたつて、地方交付税の算定を行っているため十%の増加を見込んでいます。

しかしながら本市の場合、国が見込んでいないほど法人税等が伸びるとは考えられないので、希望的な観測をまじえず、比較的固く試算しています。

したがって、前年度当初予算に比べ減少となりましたが、決して過少な見積りをしたわけではありません。

## 高校新設

**議員** 県は、五十四年度に小倉南地区及び八幡西地区にそれぞれ一校ずつ県立高校を開校する予定ですが、建設場所は決まったのでしょうか。

また、五十二年度の県の予算案には小倉南地区一校分の用地関係予算が計上されていません。

本市が用地の負担をするのですか。

**教育長** 具体的な建設場所については最終的な検討段階に入っていますが、まだ決定はされていません。

小倉南地区一校分の用地の本市負担については協力の申し出を受けています。建設場所が決定されましたら市としてもできるだけ協力をし、県立高校新設の促進を図っていくつもりです。

### がんばります新中期

— 苦しい財政 —

**議員** 新中期計画を定めた際の財政見通しが、現在ではかなり狂っています。

近い将来、景気の回復は期待できず、財政状態はますます悪化すると思われま。

新中期計画を基本的に見直す考えはありませんか。

**市長** 地方交付税の伸びなやみなどにより、当初の見通しよりも財政状態が悪くなっているのは事実です。

しかし、ここで計画を見直しても、目標を後退させる結果にしかなりません。

五十四年度までまだ期間もありますので、目標はそのままにして、目標達成のため、最大の努力をしていく考えです。

**新中期計画とは**  
北九州市の理想の姿をうたった基本構想に基づく、昭和五十年からの実施五か年計画

### 水道料減免

**議員** このたびの異常寒波により水道管が凍結し、多数破損が生じました。

この破損による漏水については、水道料金算定にならなかの措置をすべきではありませんか。

**水道局長** 凍結破損によって、使用水量が前期の一割以上増えたときは、料金は一割増までといたします。

## 予算特別委員会の審査から

昭年52年度予算など46件を審査する予算特別委員会は、3月15日から7日間わたって開かれ、連日慎重な審査を行いました。

以下、審査のなかから、特に、市民生活に関係の深い質疑応答を委員長報告から取り上げてみました。

### モノレール

**委員** 本年夏ごろには、モノレール建設に着手するということを聞きます。小倉駅乗入れ問題は、とりわけ地域住民の関心が高いので、高架案で決定されているが、地下案は考えられませんか。

**市長** 本年度から着工するのかわり、モノレール建設に対する今後の市の基本方針及び地域住民との折衝の経過について、説明してください。

**市長** 本年度から着工するのかわり、モノレール建設に対する今後の市の基本方針及び地域住民との折衝の経過について、説明してください。

も承知していますが、県都市計画地方審議会の付帯意見を尊重して関係者と時間をかけて話し合いを行い合意を得るよう努力していきます。

### 私立高校授業料補助

**委員** 高校の義務教育化が叫ばれている今日、公立と私立の父母負担には格差があります。

市として、私立高校生の父母に対して、授業料補助を行うべきではありませんか。

**市長** 私立高校の授業料補助を父母が強く望んでいることは十分承知しています。

しかし、これは本来、県が取り組むべき問題であり、市が行うのは適切でないと考えます。私学助成について、県に強力に要請していくつもりです。

### 福祉工場

**委員** 「太陽の家（別府市）」福祉工場の分工場誘致について、建設見通し及び将来計画について説明してください。

**市長** 五十二年年度予算に用地整備費を計上しています。

分工場誘致を「太陽の家」と協議する中で、建設費の九割負担や運営費の補てんなど困難な問題が起っています。

これらの問題については、引続き協議中ですが、一方において、市内の企業からも福祉工場建設の申し入れがあり、こちらとも折衝

中です。  
市内の企業と近く合意に達する見込みもあり、決まれば、「太陽の家」とは別の経営主体となり、社会福祉法人になります。  
具体的に職種や定数までは、煮詰めていませんが、収容者は市内の障害者が優先すると考えます。

### 沖台地区の工場移転

**委員** この不況下では、企業の移転はなかなか難しいと思います。移転先の道路・公園などの公共施設を早急に整備し、企業に移転の決断を促すべきではないですか。

**市長** 現在、六十六歳以上を対象に実施しており、政令都市の中では進んでいる方です。新中期計画の中で、六十五歳まで拡大することを約束していますので、五十四年度末までには実現させる考えです。

### 老人医療

**委員** 老人医療費の無料化を六十五歳まで拡大するといわれていますが、いつから実施するので

**市長** 現在、六十六歳以上を対象に実施しており、政令都市の中では進んでいる方です。新中期計画の中で、六十五歳まで拡大することを約束していますので、五十四年度末までには実現させる考えです。

### 小倉北中央公民館

**委員** 小倉北区中央公民館の建設計画についてお尋ねします。

**市長** 最近、市庁舎が手狭になり、NHK小倉放送局横に中央公民館を併設した第二庁舎の建設を考えています。

しかし、まだ具体的な案は決まっています。内部の見直し調整を図り、基本設計に取りかかっています。今しばらく時間がかかると思



審査中の委員会

常任委員会委員

◎委員長 ○副委員長

Table with 6 columns: 総務財政委員会, 民生水道委員会, 公害衛生委員会, 経済港湾委員会, 建設交通委員会, 文教建築委員会. Each column lists committee members and their respective departments.

特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

Table with 5 columns: 大都市税財政制度確立特別委員会, 鉦害対策会特別委員, 余暇利用対策特別委員会, 都市交通・新空港対策特別委員会, 都市再開発対策特別委員会. Lists members and their specific tasks.

会派構成

◎代表者

- List of political groups and their representatives: 自民党 (十四名), 公明党 (九名), 共産党 (九名), 社会党 (八名), 新政治会 (六名), 市民クラブ (六名), 無所属 (二名).